

【学校教育目標】 ～自信と誇りを持って行動できる生徒の育成～

進んで学ぶ生徒 思いやりのある生徒 心身ともにたくましい生徒



申玉中だより No. 14

令和5年3月7日 文責：校長 山崎 則枝

〇〇世代



Z世代、ゆとり世代、団塊世代、新人類など、その時代、時代で若者たちをひとくくりに呼ぶことがあります。

今の若者たちを指す『Z世代』とは、1990年代半ばから2000年代終わり頃、または2010年代始め頃までに生まれた世代のことだそうです。家庭にパソコンが本格的に普及し始めてから生まれた、真の意味でのデジタルネイティブ。ITリテラシーが高く、SNSを解して

情報収集、情報発信、人とのつながりを得意とします。また、多様性を尊重し、環境問題や人種差別といった社会問題にも関心が高い傾向にあります。一方では、冒険しない、出世欲がないなど安定志向が強い傾向にあるとも言われています。(発祥は、アメリカの世代分類『ジェネレーションX』という言葉から派生しているようです。)

この〇〇世代などの世代をくくる言葉と内容(世代語、世代論)とは、誰が何のために名付けているのでしょうか。

私たち大人は、若者が自分たちと異なる考え方や行動を共通して持つようになると世代語を登場させます。ちなみに、私はバブル世代と就職氷河期世代の狭間のような世代で、団塊ジュニア世代などとも呼ばれていました。

いつの時代でも、大人は自分たちを納得させるため、若者を〇〇世代とくくります。一方で若者は、「当たっているけど、全部そうだと決めつけないでほしい」「特徴が当てはまっても個人を見てほしい」と、思っています。時代と社会のありようは世代の意識をつくります。育っていく環境において生活様式や経済状況、教育方針など社会全体が変化していくのですから、その中で身に付く考え方や行動が異なってくるのは当たり前のことです。

しかし、それがメディアを通じて過剰に流され、くくりの言葉として決めつけるように使われることは危険だと思います。世代語・世代論には大人と若者にズレが生じます。そんな時、学校や職場で、教師や上司が「〇〇世代だから～だ」と決めつけ、納得してしまうのではなく、お互いをどう理解するのが良いのか、視点やポイントを共有することが大切です。私たち大人の「〇〇世代だから…」のラベリングは、若者たちの「どうせ〇〇世代だから…」とう自己ラベリングをもたらします。重要なのは、そのラベルをきちんと剥がし、自分を生きることです。

今、中学生の皆さんにも、今後、新たな世代語がつけられるかもしれません。しかし、大切なのは、皆さんがどういう時代と社会に生きているのか、その特徴と課題を正しく把握しながら、世代語や世代論に振り回されることなく、その時代を生きる一人の人として、しっかりと自分を形成して生きることです。

輝く☆玉中生!

【ロータリークラブ読書感想文表彰】
3年

【ときがわ町教育委員会褒賞】
2年 (スポーツ分野)
3年 (文化分野)



三年生を送る会

2023. 3. 2

THE パフォーマンスラボの“ミラクルイリュージョンサーカス”で幕を開けた3年生を送る会。

後半には懐かしい写真が次々と映し出された思い出のスライド、後輩やお世話になった先生方からのメッセージも流れ、心のこもった送る会が実施できました。



3年生が皿回しに挑戦!



ドキドキのパフォーマンス

第76回 卒業証書授与式

3月15日(水)

玉川中学校卒業証書授与式まで、約1週間となりました。第76回という数字からも玉川中学校の歴史と伝統を感じます。3年生の皆さんには、これまでの先輩方に負けないよう今まで培ってきたことを生かし、社会に貢献する人になって欲しいと教職員一同心から願っています。

今年度は、卒業生・在校生の合唱も予定しています。



水	3年 租税教室
2 木	三年生を送る会
3 金	県公立高校入学許可候補者発表
4 土	
5 日	
6 月	部活動なし 
7 火	
8 水	
9 木	3年 食育講演会
10 金	
11 土	
12 日	
13 月	卒業証書授与式予行 
14 火	
15 水	第76回卒業証書授与式
16 木	委員会活動日
17 金	1・2年 授業参観 部活動なし 学級懇談・学年PTA・理事会
18 土	
19 日	
20 月	
21 火	
22 水	給食最終日・大掃除 
23 木	期末短縮・部活動なし
24 金	修了式
3月1日(水)～14日(火)、17日(金)は昼清掃日課になります	
3月27日(月)～4月7日(木)	
4月 春休み	
の主な予定	
7 木	準備登校
10 月	入学式・始業式
11 火	身体測定・教科書配布
12 水	給食開始
13 木	新入生歓迎会・避難訓練
22 土	授業参観・学級懇談・PTA総会

